



久種湖

船泊小学校通信 第8号 平成25年10月30日発行

教育目標

よく考え進んで学ぶ子
明るく心豊かな子
健康でたくましい子

【第4分節】学芸会～2学期終業式
「授業に集中し、学力をつけよう」



これからも

子どもたちがより良い人間関係を築けるように

～いじめを許さない学校に努めます～

【はじめに】

幸いなことに、今の船泊小学校にはいじめがありません。これからもずっとそうあって欲しい。みんなの願いです。全国では、どの学級・どの学校にも起こり得る「いじめ」が、深刻な社会的問題となり、その解決が学校と大人社会に求められています。船小でも、この問題に全教職員が正しく向き合い、いじめを許さない学校づくりを保護者・地域・関係者の共同ですすめるために、学校として次の様な基本方針を持ち、実践を積み重ねていきます。

人権教育の重視を

- ① 自分の命や体、生き方を大切にする。
- ② 友だちの命や体、生き方を大切にする。
- ③ お互いにより良い人間関係をつくりあげる。



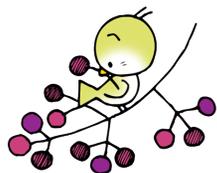
そのために



そのために



そのために



3 家庭や地域は

- 家庭訪問・懇談会を通して
 - ・気になることや悩みを相談しましょう
 - ・子どものがんばりや良い点を見つけましょう
- 各種おたより等を通して
 - ・学級や学校での取組を共有しましょう
 - ・共に取組もうという意識を大切にしましょう
- 日常生活を通して
 - ・子どもたちの行動で気になることがあればよその子でも注意しましょう
 - ・地域みんなで子どもたちを育てる意識を大切にしましょう
 - ・学校行事などで、子どもを励ましましょう

1 学校・先生は

- 授業を通して
 - ・わかる楽しい授業で基礎学力を身につけさせる
 - ・友だちと学び合うことを大切にする
- 休み時間を通して
 - ・子どもとのふれ合いを大切にする
 - ・いつもと違いがないか観察する
- アンケートを通して
 - ・実態を把握する
 - ・きめ細かな指導に生かす
 - ・問題点は職員みんなで共有し、解決のための知恵を出し合う

2 子どもたちは

- 学校行事を通して
 - ・自分の役割を果たす
 - ・友だちと協力する
 - ・親や地域の方に感謝の気持ちを伝える
- 縦割活動を通して
 - ・掃除をがんばる
 - ・あつさつをしっかりと
 - ・児童会活動に取り組む
- 学級集団を通して
 - ・仲良く遊ぶ
 - ・学習や遊びのルールを守る

学校・家庭・地域が

協力し合うことで

いじめのない

学校にしようと

考えています



いじめアンケート 集計結果



今年度2回目の「いじめアンケート」を10月に実施しました。
結果は次の通りです。

「いじめ」に関するアンケート 集計結果(全校)

調査人数:55名

調査実施日:平成25年10月

【質問1】今年の6月から今日まで、いじめられたことがありますか。

		人数	%
ア	ある	5	9
イ	ない	50	91

【質問2】1で「ある」と答えた人は、どんないじめを受けましたか。

(複数回答)

		人数	%
ア	仲間はずれや無視	1	20
イ	暴力	2	40
ウ	持ち物にいたずら	0	0
エ	悪口	1	20
オ	傷つくメール	0	0
カ	その他	3	60

【質問3】1で「ある」と答えた人に聞きます。今もいじめられていますか。

		人数	%
ア	いじめられている	0	0
イ	いじめられていない	5	100

【質問4】いじめをされた時、相談するとしたら誰にしますか。

(複数回答)

		人数	%
ア	学校の先生	26	47
イ	友達	20	36
ウ	親	38	69
エ	兄弟	7	12
オ	電話相談の利用	6	10
カ	誰にも相談しない	4	7
キ	その他	4	7

【質問5】今年の6月から今日まで友達が学校でいじめられているのを見たり、聞いたりしたことがありますか。

		人数	%
ア	ある	6	11
イ	ない	49	89

【質問6】「いじめ相談電話」を紹介するカードを知っていますか。

		人数	%
ア	知っている	40	73
イ	知らない	15	27

【質問7】いじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか。

		人数	%
ア	そう思う	43	78
イ	そう思わない	3	6
ウ	よくわからない	9	16

「ある」と答えた5人については担任による聞き取り調査を行っております。その結果
 ・追いかけてこっていて、ドアを閉められた
 →一緒に遊んでいた
 ・悪口を言われた
 →相手が謝ってくれて仲直りした
 ・文句を言われた
 →先生に注意されて謝ってくれた

「いじめ」とは言えない事例でした。
 しかし、「いじめはいつでも起こりうる」という認識を常に持ち、今後とも、全教職員による継続した指導や経過観察に努めていきます。

「ある」と答えた6人については
 ・保育所の子同士がけんかをしていた
 ・保育所に通っているときに見た
 という質問の意図とずれている回答や【質問1】の「ある」と同様の事例でした。